



江戸幸  
E D O K O

# 上方落語の魅力に触れる ～ 音曲噺と検番 ～

第五回  
江戸に幸福力を学ぶ人情噺の会  
(旧久松町倶楽部)

蘊蓄齋ひげ丸



# はじめに

- 今回から、新しいテーマを設定しました。
- 「もう一度、**落語を知ろう**」  
と題して4回程度の連続で考えています。
  - 前回までは、**人と人とのつながり、コミュニケーション**をテーマで4回行いました。
    - 幫間のいた時代、江戸の上司部下 (第一回) 「百年目」
    - 江戸の夫婦の風景 (第二回) 「芝濱」
    - 江戸の商売の道、商人道 (第三回) 「文七元結」
    - 江戸の家族・親子の絆 (第四回) 「子別れ」

今回の「落語を知ろう」シリーズの第一弾は、

## 上方落語の魅力に触れる

サブテーマは、  
『音曲と検番』です。

# 落語のジャンル

- 落とし噺  
(滑稽噺)
  - 人情噺
  - 怪談噺
  - 芝居噺
  
  - 古典落語
  - 新作落語
- 音曲噺 上方落語
  - (素噺) 江戸落語
  
  - 廓噺
  - 与太郎噺
  - 長屋噺
  - 幫間噺
  - 盲人噺
  - 夫婦噺
  - 職人噺
  - 親子噺
  - 武家噺 などなど

# そもそも、上方落語の **上方**って？

- 京都のこと？
- 大阪は入るの？
- それとも関西のこと？
- 近畿？
  
- **上**を使った言葉としては、**上京**がありますが（今は東京に来る、行くことだけど。。）

# いまでも使う、くだらない

- 江戸時代には、**上質なものの、いいものは、**  
**上方**から江戸に、**くだって**（**下って**）いた  
– 「**下り物**」として、灘のお酒など珍重されていた
- つまり、**下らない** というのは  
→ **下る価値のない** という意味。
- **上**は、**天子様（天皇）**の住んでいる所

# おなじみの風景、江戸落語の高座

## 三遊亭は、人情噺の流派



五代目 三遊亭円楽師匠



六代目 三遊亭円生

# 上方落語の必需品 見台、膝隠し、小拍子





# 加えて上方落語、特徴は鳴り物！

- 鳴り物が入るのが上方落語：音曲噺

– はめものともいう

(三味線、太鼓、銅鑼：どら なんかも)

- じっくり素話が江戸落語

– 座布団と扇子、手ぬぐい

# 三味線、太鼓、 他には銅鑼、鐘、木魚や笛も。



**スタイルの違いはなぜ？**

**上方と江戸の落語の違いは？**

# 落語の始まりは、1680年ごろ

- **露の五郎兵衛（上方京都）**
    - 延宝年間（1680年ごろ）辻噺を始める  
人の集まる場所や仏事祭礼で「**辻噺**」を始める
  - **米沢彦八（上方大阪）**
    - 彦八が噺家の別称とされるくらい一世を風靡
    - 『彦八祭り』は今年で19回目
- 
- **鹿野武左衛門（江戸）**
    - 簡素な小屋で演じる、「**座敷仕方噺**」

**1) お客さんが出てゆくのが目標？**

**2) 鳴り物入り！すべてが音曲噺**

**上方落語の2大特徴！**

# 1) お客さんが出てゆくのが目標？

- **笑わせてなんぼ！の上方落語**
  - 初めから、どっかんどっかん。テンションが高い！
- **寄席を出るときに払う、もともとは後払い方式**
  - 辻噺の流れ
- **あまりにおかしくて、笑いすぎておなかがいたいの、もういいよ！今日のところは退散する。**

## 2) 鳴り物入り！すべてが音曲噺

- 辻噺で、人の足を止めなければならず、また、行李を回すために、逃がさない工夫。
- 噺の途中で、聞いている人をあきさせない&帰さないための、はめもの。
- 間断ない笑いと言曲（鳴り物）大サービス！踊りも入る。噺家のすそもはだけてしまうほどの熱演も。

さて、ここで本日の三味線のお師匠さん、**弥生姉さん**をお呼びいたしましょう。



**三味線の構造は？**

**音色や、調子は？**

**本調子、二上がり、三下がり**

# 三味線まわりの言葉

- **口三味線**をひく（相手を惑わすの意）
- ちりとてちん
  - ちんとんしゃん
- **ぺんぺん草**も生えない
  - ナズナ（春の七草）
  - 荒廃地でも生える

**弥生姉さん！  
ありがとうございました。**

**後ほど「たちきれ」  
よろしくお願いいたします。**

# 「たちきれ」について

- 爆笑噺が多く、人情噺の少ない上方落語の中で、最高峰とも評されています。
- 現在は、米朝師匠の十八番ですが、京楽師匠は、その米朝師匠をもしのぐといわれた、故・桂文枝師匠から直々にじっくり稽古をつけてもらったそうです。
- その時に、上方の噺を言葉も含めて、江戸の噺に移すことも、一緒にしていただいたそうです。
- とても大切な言葉を移し変えるのに、数時間悩まれたとか。

# 芸者さんの世界、花街・花柳界とは

- 芸者が出入りする界隈は『**花街（はなまち）**』  
と言われます。そして**芸者さんの世界**は『**花柳界（かりゅうかい）**』と呼ばれ、これは**柳緑花紅**からあでやかな世界を意味しています。
- 芸者衆を招いてお座敷でお料理を食べながら遊ぶという『**遊食**』の習慣は、日本独特の接待の仕方です。
- 『**花魁（おいらん）**』は公許の下であった吉原の遊郭にいた高級娼婦のことで、**芸者とは異なります。**

# 検番は、ご存知でしょうか？

- 検番とは、今は、芸妓組合やお茶屋組合の事務所を指す言葉。
- 元々は字から想像できるようにお茶屋の取り締まりをする場所をそう呼びました。
- 現在では、芸舞妓の稽古場でもあります。
- 現代に残る、長崎検番を本日は、ご紹介しましょう。

# 長崎検番 花街丸山町にあります





長崎くんち、長崎検番前の通りにて





# スペシャルサンクス！八木さん



スタジオ  
ライズ  
EDITORS OFFICE studioRise

## カメラマン：八木拓也 やぎたくや

1967年長崎県生まれ。地元の広告代理店から大手印刷会社のディレクターへ。ポスターや官公庁誌、各種パンフレットなどを手がける。

2000年からスタジオライズのカメラマンへ転身。料理の写真を得意とする。

# 検番から派遣されて、料亭へ

- 龍馬も通った丸山町「花月」  
- 今は、史跡料亭



# 花代（はなだい）

- 花代（はなだい）とは、芸子さんに対してお客様が支払うご料金のことを言います。玉代（ぎょくだい）・線香代とも言います。
- 各花柳界によって多少違いはあるかと思いますが、長崎検番では基本として15分を1本と数えます。
- 4時間（16本）＋約束（5本）＝計21本がひと座敷となります。その後は15分（1本）単位での延長です。

# 京の地唄の雪か、 江戸の端唄の黒髪か

詳しくは、パンフレットもご参考に。

京都の地唄の「雪」の歌詞は泣かせます。

舞台を江戸に移したことで「黒髪」で演じることが多いです。

**地唄の雪は、**

**浮世を捨てて尼になった芸子が  
昔の恋人を忘れられないでいる  
心情を歌った名曲です。**

**桂文枝師匠のCDの解説より**

map08.pdf (application/pdf オブジェクト) - Mozilla Firefox  
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)  
 http://www.shinjukubunka.or.jp/bunkainfo/control/map/map08.pdf

**江戸幸**  
 E D O K O

江戸に“幸福力”を学ぶ人情噺の会 (旧久松町倶楽部)

久松町倶楽部改称、『江戸に“幸福力”を学ぶ人情噺の会』略して江戸幸(エドコと呼んでた啦)のホームページです。

今回の見どころ聴きどころ  
 これまでの活動  
 江戸幸ギャラリー  
 江戸幸ブログ  
 設立趣意書

  
 三遊亭京楽師匠とともに活動をさせて  
 いたないでます。  
 Link

【江戸に“幸福力”を学ぶ人情噺の会 - 第五回】  
 落語を知ろう！シリーズ第一弾  
 「上方落語の魅力にふれる」

演目：  
 ●古典落語「寄合酒」立川松幸さん  
 ●古典落語「猫の忠信」真打 三遊亭京楽師匠  
 ●落語講座「音曲と袂番」羅蕃齋髯丸さん  
 ●古典音曲人情噺「たちざれ」真打 三遊亭京楽師匠

日時：2009年6月20日(土) 13:30～16:30(受付13:00～)  
 場所：新宿区立新宿文化センター 4F 和会議室  
 東京都新宿区新宿6-14-1 Tel.03(3350)1141  
 木戸銭：3,500円

お申し込み方法：メールの場合 = kasue@ninjyou.com までお申し込みください。  
 お電話の場合 = 03-2466-4134(カスエ携帯まで。)

■注目！  
 江戸手描き友禅職人、藤本紀一郎さんが染め上げた三遊亭京楽の名入り「たちざれ」特製手拭い、および究極のエコ反物のプレゼント抽選会もございます。  
 ※終演後、京楽さんをお囲む会(料金別途)も予定しています。



EDOKO 2009

エドコキャラクターの“いーにゃん”です。

ご静聴、ありがとうございました。

